

# 生活福祉資金 相談受付票

狭山市社会福祉協議会

## 記入例

受付日	令和2年 4月 24日 ( 金 )	対応者	
対応時間	: ~ :	相談種別	来所 電話
相談経路	<input checked="" type="radio"/> 本人 民生委員( ) 県社協( ) 自治体( ) <input type="radio"/> ハローワーク( ) 自立相談( ) 家計相談( ) <input type="radio"/> その他( )		
フリガナ	サヤマ タロウ	性別	<input checked="" type="radio"/> 男性 女性
相談者氏名	狭山 太郎	生年月日	大・昭・平 53年 5 月 16 日 ( 41 歳 )
住所	狭山市富士見1-1-11 ( <input checked="" type="radio"/> 持家 <input type="radio"/> 借家 )	連絡先①	04 - 2956 - 7665
住民票の登録	<input checked="" type="radio"/> ①上記住所と同じ <input type="radio"/> ②別の場所( ) <input type="radio"/> ③不明	連絡先②	- -
同行者	有 ( 世帯員 親族 知人 民生委員 自立相談 家計相談 その他( ) ) 無		
本資金利用	有 ( 償還完了 償還中 ) ( 借受人 連借人 連帯保証人 ) <input checked="" type="radio"/> 無		
世帯区分	低所得 障害者 高齢者	世帯状況	母子 父子 生活保護 ( )
希望資金種別	総合支援資金 ( <input checked="" type="radio"/> 生活支援費 <input type="radio"/> 住宅入居費 <input type="radio"/> 一時生活再建費 ) 緊急小口資金		

世帯状況	氏名	続柄	年齢	勤務先・学校	健康状況	家族構成図	
	1	狭山 太郎	本人	41	〇〇		良好
	2	狭山 花子	妻	39	(株)△△		良好
	3	狭山 一郎	子	14	〇×中学校		良好
	4	狭山 次郎	子	10	〇×小学校		良好
	5						
	6						
	7						
	8						

### 相談内容および経緯

タクシーの運転手を〇年していたが、今回、新型コロナウイルス感染症の影響で、会社の売上が減少したため、4月〇日付けで退職。失業給付も対象ではあるが、それだけでは不足するため、借り入れをしたい。

減収前の収入:〇〇〇万円、減収後の収入:△△万円、最後の収入予定:×万円

職種、これまでの仕事内容、新型コロナウイルス感染症の影響の度合

【借入希望額 600,000 円】

他制度の利用(相談)状況	
特例貸付(緊急小口資金)	
住居確保給付金:相談中	
失業給付:申込中	

現在の収支状況

【一月あたりの世帯収入】

一月あたりの収入状況	内訳	金額(円)	備考
	給与	300,000	本人:〇〇万円、妻:〇△万円
	収入合計	300,000円	

【一月あたりの世帯支出】

一月あたりの生活費	内訳	金額(円)	備考
	食費	60,000	
	光熱水費	40,000	水道・電気・ガス・電話代など
	保険料	30,000	国民健康保険料・介護保険料など
	住宅費	70,000	家賃・地代など(住宅ローンは含めない)
	その他	50,000	教育費・雑費など
	その他		

負債等の一月あたりの返済額	住宅ローン	負債残高	住宅ローン	借入先( )	
	公的資金			借入先( )	
	生活福祉資金		0	生活福祉資金	200,000 借入先( 埼玉県社会福祉協議会 )
	クレジットカード			クレジットカード	借入先( )
	その他		30,000	その他	1,970,000 借入先( ○×ファイナンス )車のローン
	支出合計		280,000円	支出合計	1,970,000円

狭山市社会福祉協議会 会長 殿

記入した個人情報については、本制度に必要な範囲で関係機関と情報共有することに同意します。なお、同意にあたって、別紙の「個人情報の取り扱いについて」について説明を受けました。  
また、原則として生活困窮者自立支援法に基づく自立相談支援事業の利用を貸付の要件とすることについて同意します。

令和 2 年 4 月 24 日

相談者氏名

狭山 太郎

(自署)